

核戦争防止 兵庫医師の声

第 85 号 2012 年 6 月号

発行 核戦争を防止する

兵庫県医師の会

〒 650 - 0024

神戸市中央区海岸通 1-2-31

神戸フコク生命海岸通ビル 5 F

兵庫県保険医協会内

電 話 078 (393) 1807

振 替 01130-6-57830

憲法施行 65 周年 神戸憲法集会

憲法で国の暴走にストップを

運営委員 武村義人

5 月 3 日恒例の兵庫県憲法集会が神戸市勤労会館において開催された。超満員の参加であった。開会、挨拶に続き二つの講演があり、決議が採択され最後に三宮をパレードし終了した。

特に圧巻であったのは、小森陽一東京大学院教授の講演『3.11』以後の日本の憲法と思想』であった。周知のように氏は九条の会の事務局長でもある。

日本は二つの原子爆弾の被害にあったにもかかわらず、その直後から核兵器に憧れその原材料である濃縮ウラン、プルトニウムの生産を計画した。いわゆる核の平和利用、原子力開発である。そのために国家予算が計上されたのは 1954 年 3 月、それも急遽の決定であったのだ。この 3 月 1 日はビキニ環礁で核実験が行われ第 5 福竜丸を含む、千隻のマグロ漁船が被爆した日すなわち「ビキニディ」だ。多くの船は買収され情報は隠蔽され、日本にその情報が届いたのはかなり後となった。この惨事が国民に知れ渡る前に予算の決定がなされたのだ。その額もふざけたもので、ウラン 235 にちなんだか 2 億 3 5 0 0 万円。核開発を原子力開発と翻訳し、平和利用のイメージで国民を欺く出発点となったのだ。

そして国、財界、ゼネコン、原発メーカーが一体となって安全神話を作り続けてきた。

3.11 以後の状況、被害は話すまでもないが、一年たった現在を憲法から見ると当然 25 条は完全に守られていない、13 条の幸福追求権もない。また 22 条の居住、移転および職業選択の自由もない。働きたくても仕事がないというのは 27 条の すべて国民は、勤労の権



小森陽一氏の話に聞き入る参加者

利を有し、義務を負うに反することとなる。

原子力開発、安全神話をもって国民を欺き続けたことの破綻がここに凝縮されている。氏はここでノーベル賞作家の大江健三郎氏を引用する。「あいまいな日本の私」におけるあいまいさが日本の政治を動かしている、端的に言うとうそつき政治が横行しているというのだ。憲法は国を縛るもの、国の暴走をストップさせるもの。この 3.11 は原発のあり方の根源に国の暴走があったし、また被災者救済においても、大きな問題を投げかけている。

講演は、歴史の検証とともに、情熱的に憲法の大切さを述べられた。医療人としてもかなり関連の強い課題でもあり、大変有意義なものであった。

東電福島原発大惨事の被害から子どもたちを守るために科学者・医療者の果たす役割は何か。

チェルノブイリーフクシマ ～ドイツの経験から学ぶ～

インゲ・シュミッツ-フォイヤハーケさんとセバスチャン・プフルークバイルさんを迎えて

日時：2012年6月28日（木）14:00～17:00（開場 13:30）

会場：キャンパスプラザ京都 2F ホール

（京都市下京区西洞院通塩小路下る／TEL：075-353-9111）

資料代：1,500 円（当日参加可）

どなたでもご参加いただけます



Inge Schmitz-Feuerhake（インゲ・シュミッツ-フォイヤハーケ）

1935 年生まれ。物理学と数学を学ぶ。1973 年～2000 年、ブレーメン大学の実験物理学教授。線量測定分野で研究、放射線防護と放射線源の健康への影響に特に焦点を当てた。80 年～、積極的にドイツの放射線誘発白血病クラスターに関わり、ドイツ放射線防護協会の協会の創設の一員となる。放射線リスク (ECRR) に関する欧州委員会の委員長。

Sebastian Pflugbeil（セバスチャン・プフルークバイル）

1947 年生まれ。物理学者、ドイツ放射線防護協会会長。ECRR 理事。1989 年以後、ドイツ統一の過程の中で、暫定政府であった「円卓会議」で大臣として人関。チェルノブイリ事故の諸結果についての専門家、数年間にわたり現場調査。1990 年ベルリンにて市民団体「チェルノブイリの子どもたち」を創設、長年ドイツ・チェルノブイリ支援協会の理事を務める。原発周辺の子どもたちのがん発病率増加について研究調査。



遊園地に生まれ変わった原子力発電所



《問い合わせ》

共催：市民と科学者の内部被曝問題研究会（松井英介 TEL：058-296-4038 FAX：058-296-3903）

核戦争防止国際医師会議京都府支部（京都市中京区七観音町 637 第 41 長栄カーニープレイス四条烏丸 6 F 京都府保険医協会気付

兵庫県反核医師の会（担当事務局：平田 TEL 078-393-1807, FAX 078-393-1802）

近畿反核医師の会懇談会

非核三原則 法制化へ活動強化

近畿反核医師の会は3月11日、大阪保険医協会会議室で第13回懇談会を開催。IPPNW大阪・京都支部と近畿の反核医師の会、保険医協会、民医連から医師、歯科医師ら18人が参加した。

日本反核法律家協会事務局長の大久保賢一弁護士が「非核三原則法制化の意義と可能性」をテーマに講演した。

大久保氏は、被爆者団体の日本原水爆被爆者団体協議会の「21世紀被爆者宣言」や2010年の広島市長と長崎市長の「平和宣言」などを紹介し、非核三原則の法制化が強く求められていると強調した。

非核三原則のうち「持たない、作らない」は、国内的には原子力基本法(55年)で原子力の平和利用を宣言したこと、国際的には核不拡散条約(NPT)への加盟(68年署名・70年発効)で、「非核兵器国」を選択したことで、すでに法制化されていると説明。三原則の法制化は、米国の核兵器を日本に「持ち込ませない」ために必要だと述べた。



熱心に聞き入る参加者

懇談会では今後の活動として、非核三原則法制化のため地元の自治体・国会議員への働きかけを強めることなどが確認された。

本の紹介

『対論 普天間基地はなくせる - 日米安保の賛成・反対を超えて -』

伊波洋一(元宜野湾市長)と、柳澤協二(元内閣官房副長官補)による「日米安保の是非を超えて、どうする米軍基地問題」をテーマに公開市民講座での対談をブックレット化

「これを機に基地問題を原発と同様、日本人すべてが自分のこととして考えていただければと思います。」

兵庫県保険医協会 八木秀満理事

—「対論開催地から」より



2012年5月 かもがわ出版社より発売中 定価 600円+税

お求めは兵庫県反核医師の会

(担当事務局：有本 TEL 078-393-1807, FAX 078-393-1802) まで

核戦争を防止する兵庫県医師の会 設立30周年総会・記念講演会

宇宙飛行士・秋山豊寛さんが語る 未来に残そう平和な地球

核戦争を防止する兵庫県医師の会は、設立から今年で30周年を迎えます。節目となる総会では、日本人初の宇宙飛行士・秋山豊寛さんをお招きして記念講演会を開催します。秋山さんは宇宙飛行士の経験から宇宙の平和利用を訴えており、JAXA法の改定に反対するアピールを発表し署名を国民に訴えています。JAXA法の改定は、日本の宇宙開発を担うJAXA（宇宙航空研究開発機構）の業務を「平和の目的に限り」行うと定めたJAXA法からこの規定を削除するものです。また、東電福島第一原子力発電所事故の避難者として「原子力村」への怒りを表明されています。ぜひ、この機会に日本人初の宇宙飛行士が語る反核平和の思いをお聴き下さい。

●日時：7月22日（日）

13時30分～14時 総会議事

14時 ～16時 記念講演会

「未来に残そう平和な地球」

講師 秋山 豊寛 氏（宇宙飛行士・ジャーナリスト・農民）

16時30分～ 懇親会（会費 5,000円）会場：ニューミュンヘン倶楽部 神戸元町店

●会場：兵庫県保険医協会 会議室

●協賛：神戸YWCA平和活動部

講師プロフィール：秋山豊寛 1942年、東京生まれ。宇宙飛行士、農民、ジャーナリスト。2011年11月から、京都造形芸術大学教授。国際基督教大学卒業後、TBSに入社し、ロンドン駐在、ワシントン支局長などを歴任。1990年12月2日から9日間、日本人初の宇宙飛行士として、旧ソ連の宇宙船「ソユーズ」、宇宙ステーション「ミール」に搭乗。1995年にTBSを退社、翌年から福島県滝根町に移住して有機農業に従事。著書に『鋤と宇宙船』（ランダムハウス講談社）、『農人日記』（新潮社）、『宇宙と大地』（岩波書店）、『原発難民日記』（岩波書店）など多数。



----- お申し込み、お問い合わせは兵庫県保険医協会（TEL 078 - 393 - 1807）平田・有本まで -----

返信FAX 078-393-1802

●反核医師の会 総会に

☐参加

☐不参加

●記念講演会に

☐参加

☐不参加

●懇親会に

☐参加

☐不参加

氏名 ()

(TEL 078-393-1807, FAX 078-393-1802 ,mail: arimoto@doc-net.or.jp) まで

原水爆禁止世界大会が広島で開催されます

8月4日(土)～6日(月)

核兵器廃絶の流れとともに、世界各地の草の根で反戦平和、民主主義、格差の打破やより公正な社会などをもとめる多様な運動が広がっています。2012年世界大会は、国連、政府、自治体、NGO、草の根の運動との共同をさらに発展させ、広範な諸分野の運動との新たな連帯の広がりを創りだす前進の大会となるでしょう。一日本原水協よびかけより

**原水爆禁止
2012年世界大会**



内容	8月4日	世界大会開会総会
	8月5日	分科会、動く分科会など
	8月6日	平和祈念式典(広島平和公園) 世界大会閉会総会

お申込みは兵庫県反核医師の会
(担当事務局：平田・有本 TEL 078-393-1807,
FAX 078-393-1802 mail: arimoto@doc-net.or.jp) まで

2011 年度会費納入のお願い

核戦争を防止する兵庫医師の会は会員の皆様の会費によって成り立っております。今年度(過年度)の会費を同封されている振り込み用紙にてお振り込みいただけますようよろしくお願いいたします。

「兵庫医師の声」では会員の方からの記事の投稿や企画の提案などを募集しております。お気軽にお問い合わせください。

兵庫県反核医師の会担当事務局 有本

(arimoto@doc-net.or.jp) まで